

職業訓練法人「聚楽会」 京都府左官技能専修学院

京都府左官業組合連合会 京都左官協同組合専務理事 平尾 茂

1. 人材育成50年

京都は、左官発祥の地であり多くの色土が出土したことから左官の技能が育まれた。京都には多くの重要文化財があり、その保全に対する技能の継承が求められている。

50年の歴史を誇る京都府左官技能専修学院は、認定訓練として昭和34年京都府左官共同職業訓練所を創設、昭和44年職業能力開発促進法制定により京都府左官高等職業訓練校と改称した。兄弟校に京都府福知山高等職業（母体・福知山左官工業協同組合）および綾部分校があり、常に技能検定などの情報交換を行っていた。残念ながら福知山左官高等職業訓練校は昨年廃校となった。

平成9年、京都左官協同組合が母体となる職業訓練法人「聚楽会」の認可を受け、同年わが国唯一の京都府左官技能専修学院を設立、一般の訓練生を受け入れる「短期課程」が併設された。訓練形式も夜間から昼間とし、短期課程は全日制を採用。専修学院の形態を確立した。

現在までの卒業生624名。

2. 学院の設備

鉄筋コンクリート延1,074㎡に、壁が塗れる実習室4、座学教室2、パソコン（CAD対応）ルーム（18台設置）1に加え、駐車場スペースに室内ではできない訓練が行える屋外訓練施設を設けている。



学院の建物の仕上げすべてが左官による塗り壁でできており、左官の壁の見本となっている。また、石膏など特殊な左官技術もあり天井蛇腹、天井飾り（シャンデリヤ）が施工されている。外部には、写真に見られるようにセメント人形（京都の三大祭祇園・葵・時代祭り）が飾られているが、これも左官の技術により制作されている。

1階ロビーには、京壁による磨き壁、聚楽壁、江州壁、漆喰壁、パラリ壁や左官鋳一式および漆喰絵の数々を展示注目を集めている。これには見学者が多く、同業はもとより関連団体、学生、ユーザに及ぶ。

この施設は訓練だけでなく、多くの体験学習に使用され喜ばれている。また、全国左官技能競技大会の練習会場として使用され、多くの技能者を送り出している。

3. 訓練の内容

【普通課程】建築仕上げ系左官・タイル施工科

左官技能者として必要な専門学科と実技の一体化をはかり、人間性豊かな人材を育成。また、伝統的な京壁技法の基本を習得し、技能検定二級を目指す。

カリキュラム

訓練生定員 各年15名

普通科（2年間，週2日）訓練を終了すると技能士補の資格を得，学科免除で二級技能士の検定を受

学 科	左官・タイル施工法，造型，材料，仕様，積算，OA学，建築生産概論・構造・設備・製図，仕上げ法，安全衛生，法規
実 技	墨出し，下地施工，左官施工，タイル施工，養生，伝統壁施工，OA・機械基本実習，調合，足場実習，安全衛生作業法，測定
一般教養	社会，体育，生活指導



けることができる。

【向上訓練コース】短期課程

※6ヵ月訓練コースは，現在休校

一定以上の技能を有する者を対象としたコース。伝統左官技能と新開発技能についての集中訓練で技能のエキスパートを養成する。

コース内容

コース名	定 員
1. 京壁水捏ね工法	15名
2. 京磨き壁工法	15名
3. 漆喰壁工法	15名
4. 技能士習得コース	20名

【募集要項】

1. 普通課程 15歳以上男女

願書締切り 各年2月末日

選考方法 書類審査・面接

入学金 5万円

授業料 月額 1万5千円

但し，向上訓練（6ヵ月コース）は現在休校中



【一般教養授業】

一部座学の時間に含まれるが，京都には重要文化財や有名な建築物が多くあるので見学授業が取り入れられている。特に，重要文化財島原の角屋は，壁に特徴があるので教材として優れている。

能力開発機構や組合のスポーツの集いなどでのボウリングにも参加，体育の時間に組み込まれると同時にコミュニケーションの役目を果たしている。

卒業記念を兼ねた見学旅行は，愛媛の内子町や富山の旧家など各地の優れた左官仕事に触れる旅として，今までの訓練生には貴重な経験となっている。



4. 左官仕事の内容

4.1 建築における左官

建築における左官の役割は、例外を除きすべて仕上げ作業である。建築されるさまざまな用途によって異なる壁などに仕上げを施すのだが、その施工法には2つの工法がある。

〔乾式工法〕

工場生産された合板やクロス仕上げが主な施工法をいう。外部には、サイディングやアルミ製品もある。これらの施工法は、既製品を使用するため簡便で工期も早く直ぐに使用できるという利点があるが耐用年数に問題がある。

内部仕上げにおいても同じことだが、更に結露と化学物質汚染によるシックハウス症候群という問題がある。加えて、火災による類焼の速さで人命が脅かされている。

〔湿式工法〕

これが左官による仕上げ工法で、自然素材による材料で施工されるため乾式工法の持つ欠点すべてをホローする性能を持っているが、工期的に少し時間がかかることに欠点がある。

しかし、耐用年数や居住性には数百年の歴史が証明している。その主力となるのが、土壁を中心とする塗り壁である。

4.2 土壁の数々

京都は、さまざまな色土が採取できることから京壁として全国に知られている。学院では京都ならではの、1年生は土壁の反復練習から始めて効率の良い訓練を行っている。

土壁には、土壁を代表する「土蔵」と「土塀」がある。いずれも昔から人の命を守ってきた歴史があるが、壁の性能として調湿性・耐火性・耐震性が知られている。最近では、CO₂削減に寄与する省エネ施工として注目されている。

地方それぞれ採取される「土」はさまざまだが、その土を使用できるように「ならす」のも左官の技

である。米藁などをスサとして使うが、その均し方によって土の強度、塗りやすく割れない壁をつくることができる。

塗り壁の種類

〔聚楽壁〕

豊臣時代の千利休に始められた茶道からお茶室が生まれ、茶室の壁の仕上げとして聚楽壁が多く用いられた。聚楽土は、京都独特のもので西陣地区主に秀吉が造ったお土居から採取されるの何かの縁かもしれない。

聚楽壁には、海苔捏ね・水捏ねの2つの方法と鋺による異なる施工法があるが用途によって使い分けられている。

〔京壁〕

聚楽土を含む京都で採取された色土で施工される壁すべてが京壁だが、用途によって石灰などを混ぜて使われることがある。

求められる用途や色彩により稲荷土、九条土、白土、江州土などが使用される。仕上げには鋺押え、なで押えなどがある。

〔京磨き〕

磨き壁には、色土と漆喰が使われる。〈大津磨き〉・〈漆喰磨き〉があり、用途によってどちらかが採用される。昔の人は着物であったので廊下・便所など擦れるところでは磨き壁が適していたのではないかと推察される。



〔漆喰壁〕

漆喰ほど多くの用途に使われている材料はない。外部にも内部の仕上げにも使える万能の材料であ

る。社寺仏閣，土蔵，城郭，土塀，住宅を含む建築物すべてに網羅している。また，その耐用年数は，京都そのものが証明している。先ほど改修された西本願寺は，400年ぶりのもので風雨や大きな地震にも耐えた証ともなっている。

漆喰はまた，人間の生命そのものに貢献していることが判明した。漆喰の材料の石灰（消石灰）の性能に二酸化炭素を吸収する性質があり，低炭素化を図り地球温暖化に貢献するもの。また，漆喰の抗菌性（ウイルスの不活性化率99.998%）があり，漆喰の壁を多く塗ることにより新インフルエンザ対策に貢献できるとしている。

[パラリ壁]

漆喰壁の一種だが，壁表面の仕上げが異なる。漆喰の材料に小さな石灰塊を混入して塗ると表面に粒々が出て優雅な仕上げとなる。御所や桂離宮の壁で有名である。

[その他の仕上げ]

- ・モルタル塗り 金鋺押さえ，刷毛引き
- ・色モルタル塗り 刷毛引き，掻き落とし
- ・人造石洗い出し
- ・吹付け仕上げ
- ・石膏仕上げ 壁，天井，梁などで施工

特に，シャンデリヤ廻りの飾り天井や隅飾りの蛇腹仕上げは，左官ならではの芸術となっている。

- ・版築（たたき）工法=土コンクリート

古代からの工法で，現在でも多く施工されている。ヨーロッパ各地の遺跡やアンコールワットで余りにも有名である。

わが国でも「たたき工法」は，昔から土間に多く使われている。修学院離宮の一二三石の土間として有名。版築系では，四日市の潮吹き築堤（重要文化財）がよく知られている。いずれも数百年の歴史を誇る。

主だった左官仕様となるものを紹介してきたが，当学院では基本的にはすべての仕様について訓練しているが，場所的にでき得ないものは組合員事業所の現場での体験学習や見学なのでホローしている。伝承技能においては向上訓練において実施している。

4.3 左官工事に付帯するもの

左官の仕様には多くの仕上げ方や工法があるが，そのいずれにおいても下地の見極めや材料の拵え方に経験が必要となる。

特に，土壁にはいろいろと伝承された技法があり竹小舞の掻き方，土の拵え方に経験を要する。土は新土だけでなく古土を混ぜ寝かす（ならす）こと，採取した土を水漉し（沈殿）して塗りやすく割れにくい粘度を調整するところに難しさがある。

割れ止めにはスサを混入するが，スサの種類も藁



スサ，葎スサ，紙スサなどを用途に合わせて荒いもの，細かいものを選んで使用する。紙スサなどは和紙から叩き出してつくるが，これらも学院では指導している。

更に重要なものに「左官鋺」がある。用途に合わせてさまざまなものがあるが，左官の利点に展伸性があり，さまざまな形，継ぎ目のない壁が可能である。それもこれらの「鋺」と経験がなせる技である。

